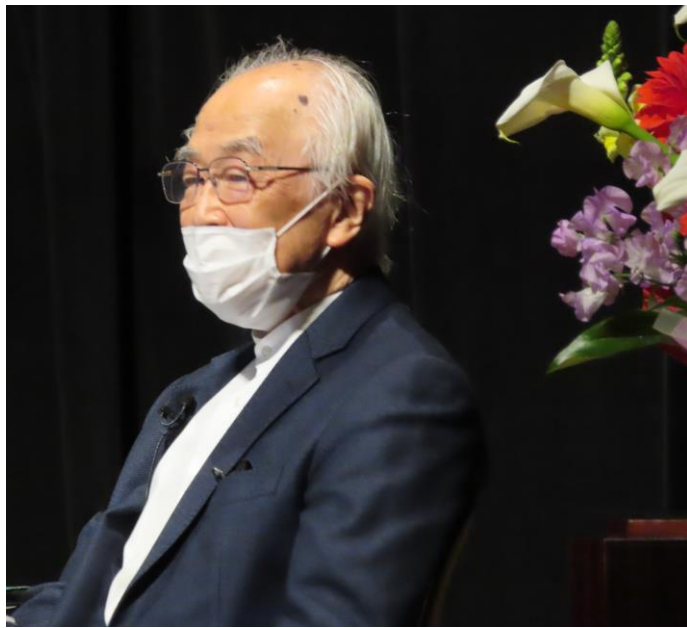


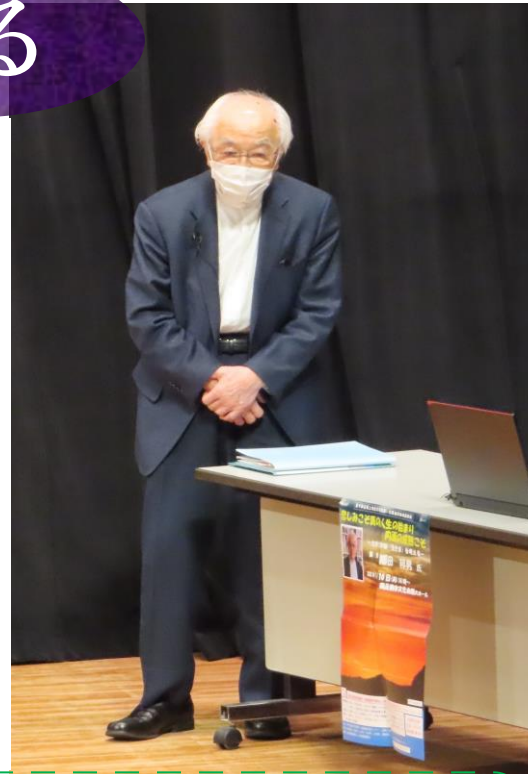
柳田邦男先生来たる



ノンフィクション作家 85 歳の 150 分に及ぶ講演の熱意と気迫に圧倒されました。

休憩時間も取り損ない、参加者の皆様もお疲れさまでした。

『さすが!』と唸らせる講演でした。



悲しみこそ真の人生の始まり 内面の成熟こそ

— さまざまな「生きる」を考える — 令和4年1月10日開催

今回の参加者の特徴は、男性の割合が高かったことです。コロナ禍でのオミクロン株急増のニュースが流れ始め、キャンセルされる方も多かったのですが、510名の参加者がありました。

柳田先生の印象に残る言葉が散りばめられていました。

アンケートに書かれた文章から、

・人は物語を生きている

(山あり谷ありの人生、「谷」にも大事な意味がある)

- ・死は人生の最終章である最終章をどう書くかは自分の人生を納得感をもって受容出来るかどうかにかかわる
- ・遺される人にとって看取りの有無はその後の人生の明暗を分ける
- ・からだのところは一体のものである
- ・POO マスター (便育) POO はウンチのこと
- ・死の社会化
- ・死は医学の敗北という思想
- ・一人一人が「死を創る時代」になった
- ・書くことが「生き直す力」になる
- ・自分を見直し、自己肯定感が生まれ、「生き直す力」を生み出す
- ・死後生という考え方。遺された人の人生を豊かに膨らませる

また、柳田先生は「おとなこそ絵本を読もう」と呼びかけています。講演の中でもいくつかの絵本が紹介されました。

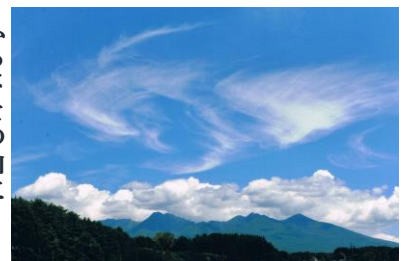
講演の最後には、石川啄木の「一握の砂」から「ふるさとに向かい」の岩手県不来方高校音楽部の合唱曲が、自称、雲研究家である柳田先生が撮影された雲の写真と共に流れ、感動したとの声がありました。

柳田先生からご紹介のあった6種類の書籍を用意しましたところ、「自分を見つめるもう一人の自分」は20冊が完売しました。柳田先生が撮影された雲の写真が散りばめられたエッセー集でした。

柳田先生お薦めの大人のための絵本 (人生読本) です。おうち時間に声に出して読み、癒され、心を成熟させましょう!

- 1 「わすれられないおくりもの」(評論社)
- 2 「だいじょうぶだよ、ぞうさん」(文溪堂)
- 3 「100万回生きたねこ」(講談社)
- 4 「おおきな木」(あすなろ書房)
- 5 「いのる」(アリス館)
- 6 「最初の質問」(講談社)
- 7 「フレデリック」(好学舎)
- 8 「ルピナスさん」(ほるぷ出版)
- 9 「おじさんのかさ」(講談社)
- 10 「あさになったのでまどをあけますよ」(偕成社)

ふるさとの山に
向ひて
いうことなし
ふるさとのやまは
ありがたきかな



映画鑑賞会（ドキュメンタリー映画） 人生をしまう時間

令和3年10月30日(土)、大井町生涯学習センターで午前と午後に2回上映しました。(上映2時間)参加は399名。申し込みのキャンセル待ちが出る程でした。アンケートからは、身内の見送りや看取り、死に別れに何年経過してもさまざまな想いを持ち、思い出しては涙を流した方や納得し直した方などの感想がありました。改めてグリーフケアの重要性と見送る側、見送られる側がより良い別れができるようACPの普及の必要性を感じました。医師、看護師、PT、薬剤師、ケアマネジャー、介護スタッフ等による目標を統一した連携が不安を減らし、安心して療養が出来ることの実際を見ることができました。森鷗外の孫である森鷗一郎医師の人間味溢れる言動に感動しました。

- ・下村幸子監督の『いのちの終いかた』
 - ・小堀鷗一郎先生の『死を生きた人々』
- 書籍の貸し出しをしています。

人工透析の方を地域で支える

9月14日 第1回 現在の透析治療と療養支援（山北町生涯学習センター）

講師：東海大学病院透析認定看護師 鈴木 麻美 氏

12月22日 第2回 透析患者の食事の注意点（WEB研修）

講師：県立足柄上病院管理栄養士 堺谷 礼子 氏

年々、透析患者は増加しています。透析導入の平均年齢は72.42歳です。1市5町の透析患者は260名程います。介護保険サービスを利用して担当される介護サービス従事者も多いことでしょう。高齢者では、食事を減らすと低栄養を引き起こすおそれがあります。また、独居の方はお弁当や惣菜を購入することも多いので、注意点を聞きました。栄養表示を見ること、塩分・リン酸塩に注意。また、野菜は、小さく切って水にさらすことでカリウムを減らすことができます。ケアマネジャーさんは病院の栄養士さんに相談しているようです。

感染症対策研修会に『手洗いチェッカー』を利用しませんか。

新型コロナウイルス感染症の他、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等感染症予防対策に日々、万全の対策を講じている事と存じます。感染症予防は、意識を高めて実践していくことが大切です。毎日繰り返す手洗いを有効になされているかを確認する「手洗いチェッカー」を、支援センターで貸し出しています。足柄上医師会のHPに借用書等一式の書式があります。2台ありますので、まずは予約の電話を入れてください。☎ 0465-43-8172

おだやかに、心を寄せて



鈴木麻美氏

